

「南房総市地域公共交通計画」(原案)に関するパブリックコメント実施結果について

総務部企画財政課

1 目的

市では、公共交通に関する様々な課題(自家用車への依存度が高いことや人口減少等に伴う公共交通の利用者の減少など)を解決していくため、南房総市地域公共交通活性化協議会での意見等を踏まえ、機能・役割を明確化した再編により、わかりやすく利便性の高い公共交通体系を構築し、地域内の全ての交通モード相互の連携を図り、地域のための公共交通の維持・存続を図ることを目標とした、「南房総市地域公共交通計画」の原案をとりまとめ、これについて市民の皆様から御意見をいただくため、パブリックコメントを実施しました。

2 実施期間

令和3年6月25日(金)から令和3年7月26日(月)までの32日間

3 周知方法

- (1) 広報みなみぼうそう 7月号にパブリックコメントの実施について掲載
- (2) 企画財政課、市民課、朝夷行政センター及び各地域センターで計画(原案)の閲覧を実施
- (3) 市ホームページに計画(原案)を掲載
- (4) JR館山駅、ジェイアールバス関東(株)館山駅バス待合所、日東交通(株)館山駅前バス待合所、南房総市安房白浜駅にて計画(原案)の閲覧を実施

4 意見の提出状況

意見の提出者 1人(3件)

5 意見の概要と意見に対する考え方

該当箇所	意見の内容	意見に対する考え方
計画の目標	鉄道について基幹交通軸として一次交通に位置付けていますが、具体的な施策に乏しいと思います。鉄道に対する施策を明確にして	鉄道については、広域交通に欠かせない重要な交通手段と位置づけています。利用者減少が続くJR内房線の利用促進

	<p>いただきたい。</p> <p>また、市民アンケートも通学目的の利用が極端に少なくなっており（1.6%）利用実態を反映していないと思われます。JR 東日本千葉支社から利用実態についてのデータを入手して、そのデータに基づき分析することが必要と思います。</p> <p>基幹交通軸である JR 内房線は、この3月からほとんどの列車が2両編成のワンマン運転列車となりました。通学時間帯では4両編成のワンマン列車となっているようですが、車掌が居ない事で安全性に問題が生じています。視覚や聴覚に障害のある方からはワンマン運転列車は不安があるという意見もあります。市としてこのような問題について地域公共交通計画の中でどのように対応するのか明確にしていきたい。</p>	<p>や利用環境を整えていく必要があり、単独市で取り組むより沿線自治体等の連携により地域の課題として検討していきたいと考えます。そのため、館山市との合同の交通計画の施策として事業を記載し、各種事業展開を予定しています。また、市民アンケートの結果については、全体に対して10代の回答数が少ない影響があると考えるところですが、朝の混雑状況等の個別案件はJR 館山駅からも情報共有をいただいているところです。</p> <p>ワンマン運転に対する安全性については、引き続き、安全性の確保に努めるよう要望活動等を行ってまいりたいと考えます。</p>
<p>【 駅舎 （ホーム）のバリアフリー</p>	<p>駅舎（ホーム）のバリアフリーについては、大賛成です。是非実現していただきたいと思えます。その際に、改札口と同じところにホームがある駅（例えば千倉駅）については、そのホームで上下線に乗降できるように改善できないでしょうか。エレベーターやホーム端をフラットなスロープ型に改良しなくても、実現できるのではないかと考えます。</p> <p>さらに駅のトイレを改善することを計画に入れていただきたい。便器の洋式化と多目的トイレの設置です。観光は市の重要な施策で駅トイレの改善は早急に行って頂きたいと考えます。</p> <p>また、「千葉県 JR 線複線化等期成同盟」を通じて要望活動を行うとのことですが、期成同盟は形骸化していませんか。内房線について沿線自治体特に安房3市1町で改善を求めることを検討してください。都市部の自治体と安房地域の自治体では状況が違うので、安房地域の実情を踏まえた活動が出来るように頑張ってください。</p>	<p>駅舎（ホーム）のバリアフリーについては、本計画案75ページに掲載のとおり、改札からスムーズに移動できるよう鉄道事業者継続的に要望していきます。</p> <p>駅のトイレについては、岩井駅、富浦駅、千倉駅、千歳駅、南三原駅、和田浦駅では、便器の洋式化を令和2年度までに完了しています。また、いずれのトイレも多目的トイレが併設されています。</p> <p>千葉県 JR 複線化等促進期成同盟については、千葉県が事務局となり、JR 千葉支社等に各路線等の要望活動を行っています。今後も安房地域の実情を踏まえた内容となるよう3市1町が一緒になって要望活動を行うよう努めていきます。</p>
<p>【 鉄道 その他</p>	<p>無人駅が増えてきています。無人駅にしないように JR 千葉支社へ要望することと合わせて、駅舎の有効利用の検討をすべきと思えます。例えば和田浦駅の駅舎は素晴らしいロケーションにあります。駅と一体の利用施設として具体化出来るように計画すべきと考えます。</p>	<p>無人駅については、ご意見のとおり無人化としないためにも鉄道利用促進が必要と考えます。JR 内房線の沿線自治体との連携として館山市との合同の計画にも「鉄道の利用促進」を施策として盛り込み、観光需要の取り込みも踏まえながら各種事業に取り組む予定です。今後も駅舎の有効利用も含めて、検討・連携等に努めてまいりたいと考えます。</p>